

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し必要に応じてご覧ください。

■安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

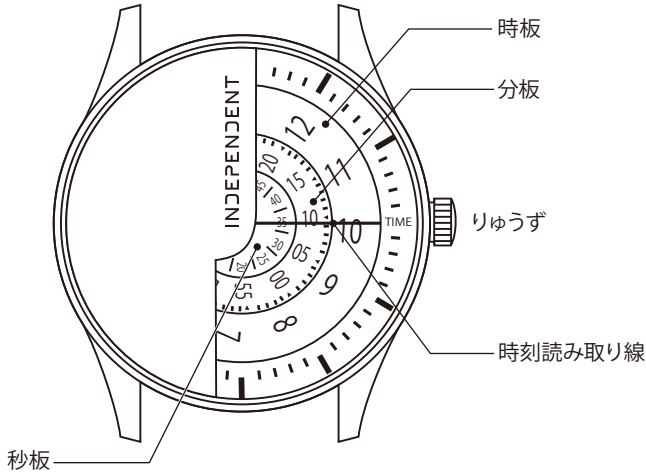
■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています。

	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
	■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）	
		このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

■商品の特徴

この時計は時刻を表すのに針の替わりに時、分、秒、を表した円板を動かし中央から3時方向へ伸びている線上に並んだ数字で時刻を表示します。

■各部の名称



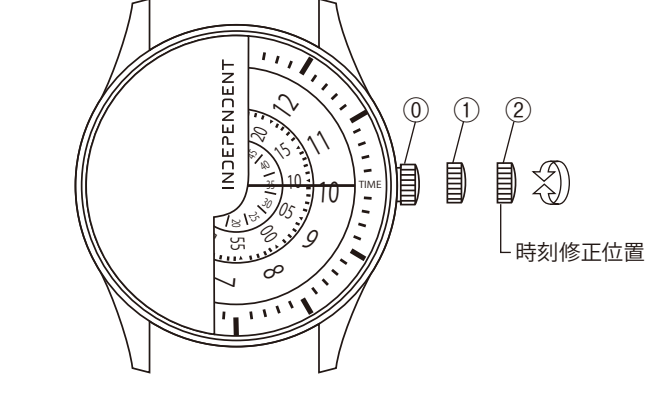
<時刻の見方>

時板、分板、秒板が回転し、時刻読み取り線上に並んだ時刻が現在時刻です。

※上図は10時9分35秒を表示しています。

■時刻の合わせ方

※りゅうずが、ねじロックりゅうずの場合は、ねじをゆるめてから操作をし、合わせ終わりましたらきちんとしめてください。



- りゅうずを引いて②位置にして、りゅうずを左へまわして時刻を合わせます。
※時刻読み取り線上に秒板の「00」位置が停止するようにりゅうずを引いてください。
※①位置でりゅうずをまわすと空回りします。
- りゅうずを⑥位置に押し込んで時刻合わせを終了します。
※時報等に合わせてりゅうずを押し込んでください。

<注意>

※分板を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせると、より正確な時刻合わせができます。
※通常のご使用では問題はありませんが、円板表示の特性上強い衝撃を受けますと時刻がずれる場合がありますので取り扱いには十分ご注意ください。
なお、時刻がずれた場合は再度時刻を合わせ直してご使用ください。

■お取り扱いにあたって

⚠ 警告

防水性能について

- ・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・日常生活用防水時計（3気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水時計（5気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキndaイビング）などには使用できません。
- ・日常生活用強化防水時計（10/20気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

防水性能について

- ・時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。（1barは約1気圧に相当します）

名 称	表 示	仕 様	使 用 例				
	文字板又は裏蓋						
非防水時計	—	非防水					
日常生活用防水時計	WATER RESIST(ANT)	3 気圧防水	水がかかる程度の使用。 (洗顔・雨等)	水仕事や、一般水泳に使用。	スキndaイビング、マリンスポーツに使用。	空気ポンプを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうず操作。
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 5bar	5 気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 10/20bar	10気圧防水 20気圧防水	○	○	○	×	×

※ WATER RESIST(ANT)××barはW.R.××barと表示している場合があります。

⚠ 注意

- ・りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- ・水分のついたままりゅうずの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。
- ・水の中で使うことが多い日常生活用強化防水時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製またはゴム製）にお取り替えの上ご使用ください。
- ・日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量に汗をかいた後は、真水でよく洗いよく拭き取ってください。
- ・万一、時計内部に水が入ったり、またガラス内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買上げ店へ修理、点検を依頼してください。
- ・時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうずなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意

時計は常に清潔に

- ・ケースとりゅうずの間にゴミや汚れが付着したまま放置しておくと、りゅうずが引き出しにくくなる場合があります。時々、りゅうずを通常位置のままで空回りさせてください。またゴミ、汚れを落としてください。
- ・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。かぶれの原因は
 - 1.金属、皮革アレルギー
 - 2.時計本体及びバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。
- ・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

- ＜時計のお手入れ方法＞
- ・ケース・ガラスの汚れや汗などは柔らかい布で拭き取ってください。
- ・皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。
- ・金属バンド/プラスチックバンド/ゴムバンドは水で洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- ※溶剤類（シンナー、ベンジンなど）の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

文字板や針が光っている場合

この時計の文字板や針には、放射線物質などの有害物質を一切含まない人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。この蓄光塗料は太陽光や室内照明などの光を蓄え、暗い所で発光します。
 ・蓄えた光を放出させるため、時間の経過と共に少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
 ・光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に誤差が生じます。
 ・光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

温度について

- ・－10℃～＋60℃から外れた温度下では機能が低下したり、停止することがあります。
- ・常温（＋5℃～＋35℃）から外れた温度下で長時間放置すると、電池が漏液したり、電池寿命が短くなったりすることがありますのでご注意ください。

磁気について

- ・アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。
- ・磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

静電気について

- ・クォーツクォッチに使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。テレビ画面などの強い静電気を受けると正しい時刻を表示しないことがありますのでご注意ください。

ショックについて

- ・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能・性能に異常を生じる場合があります。

化学薬品・ガス・水銀について

- ・化学薬品・ガス・水銀について化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

保管について

- ・長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。また、電池寿命の切れた電池を入れたまま長期間放置しますと、電池の漏液により機械部品が損傷する場合がありますのでご注意ください。

■保証とアフターサービスについて

- 保証について
 正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無償修理致します。
- 修理用部品の保有期間について
 当社は時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・バンド等の外装部品におきましては、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 修理可能期間について
 通常のご使用であれば、保証期間を過ぎても、当社の修理用部品の保有期間中は有料修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なりますので、修理の可否については現品ご持参のうえ販売店でよくご相談ください。なお、長時間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。
- ご転居、ご贈答品の場合
 保証期間中に、ご転居又は、ご贈答品のためにお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
- 定期点検（有償）について
 安全に永くご使用いただくために2～3年に一度の点検（有償）を行ってください。部品交換の際は、純正部品とご指定ください。
 防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてバックリングやバネ棒などの交換を行ってください。交換だけでなく他の部分の点検、または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店、または弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
- 電池について
 お買い上げの時計に使用されている電池は、工場出荷時に機能、性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後、所定の電池寿命に満たないうちに寿命が切れてしまうことがありますのでご了承ください。
 ※電池寿命が切れた場合は、保証期間中であっても電池交換は有料となります。
- その他のお問い合わせについて
 保証や修理、その他不明の点がございましたらお買上げ店、または弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

■メモ